

農 研 速 報

令和元年 7月 19日発行

茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況(7月1日現在、水戸市)

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策及び今後の方針	備考
	本年	平年対比				
茨城県（水戸市）	ベニアズマ つる伸長期・ 塊根肥大初期	平年より 早い	気象概況：5月第4半旬～6月第6半旬(直近5カ年の平年値との比較。水戸地方気象台観測値) 上記期間の平均気温は20.5℃で、平年並(20.5℃)だった。 降水量は210mmで、平年並(174mm)だった。 日照時間は287時間で、平年(276時間)に比べてやや多かった。 地上部の生育は、「ベニアズマ」では、主茎長は平年より長く、つる重も平年より重かった。「タマユタカ」、「ベにはるか」では、主茎長は平年より短い、つる重は平年より重かった。 地下部の生育は、「ベニアズマ」、「ベにはるか」で、1株当たり塊根数は平年より多く、塊根1個重、総いも重は平年より重かった。「タマユタカ」では、1株当たり塊根数が平年より少なく、塊根1個重は平年より重く、総いも重はやや軽かった。	小雨による欠株 及び生育遅滞が 一部見られる。 イモキバガやナカジロシタバなどによる食害が見られる。	特になし。	
	ベにはるか つる伸長期・ 塊根肥大初期	平年より 早い				
	タマユタカ つる伸長期・ 塊根肥大初期	平年より やや遅い	挿苗後の5月第4半旬～第5半旬で降水量が64mm、気温は20.4℃で平年並であり、マルチ栽培では活着がよく進んだと考えられる。5月第4半旬～6月第4半旬の最低気温が16.3℃で平年(16.6℃)より低く、無マルチの「タマユタカ」では、活着が遅れ、生育がやや遅くなったと考えられる。			

表 生育調査(挿苗後46日、7月1日調査)

品種	主茎長			分枝数			つる重			1株当たり塊根数			塊根1個重			総いも重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	48.8	103 (47.4)	146 (33.3)	7.6	111 (6.9)	137 (5.6)	82.2	122 (67.3)	217 (37.8)	4.7	101 (4.7)	135 (3.5)	11.3	128 (8.8)	125 (9.0)	21.1	129 (16.4)	157 (13.4)
ベにはるか	16.1	58 (27.6)	80 (20.2)	7.1	137 (5.2)	143 (5.0)	58.4	76 (77.4)	133 (43.9)	4.5	85 (5.3)	134 (3.4)	7.6	86 (7.6)	111 (6.8)	13.7	73 (18.8)	133 (10.3)
タマユタカ	19.2	64 (30.2)	84 (22.8)	4.9	124 (4.0)	158 (3.1)	17.2	69 (24.9)	153 (11.2)	1.4	54 (2.6)	56 (2.5)	2.6	185 (1.4)	167 (1.6)	1.5	103 (1.5)	93 (1.6)

()内は前年または平年の数値。平年値は平成26～30年(5カ年)のデータの平均値。※ただし「ベにはるか」は平成28～30年(3カ年)のデータの平均値

塊根は直径3mm以上のものとした。

挿苗日:5月16日(「ベニアズマ」、「ベにはるか」は黒マルチ栽培、「タマユタカ」は無マルチ栽培)、栽植密度:400株/a(畦間100cm×株間25cm)、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

農研所内圃場における生育状況 (7月1日撮影)



ベニアズマ



ベにはる
か



タマユタカ